

II. 業績予想の修正について

平成 18 年 4 月 7 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 2 月期中間業績予想の修正（平成 18 年 2 月 21～平成 18 年 8 月 20 日）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	16,300	△320	△1,600
今回修正予想（B）	16,300	△320	△1,805
増減額（B-A）	————	————	△ 205
増減率（%）	————	————	————
（ご参考） 前期実績（平成 17 年 8 月中間期）	17,547	△219	△ 318

（金額の単位：百万円）

2. 平成 19 年 2 月期通期業績予想の修正（平成 18 年 2 月 21～平成 19 年 2 月 20 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	35,300	150	△1,200
今回修正予想（B）	35,300	150	△1,405
増減額（B-A）	————	————	△ 205
増減率（%）	————	————	————
（ご参考） 前期実績（平成 18 年 2 月期）	37,578	20	120

（金額の単位：百万円）

3. 修正の理由

売上高並びに経常利益の予想については計画どおり推移しておりますが、当社の 1 店舗が入居するショッピングセンター（賃貸人：甲府新都市開発株式会社）が、平成 18 年 5 月 19 日付で担保不動産収益執行開始決定を受けたことに伴い、当該賃貸人に預託している差入保証金等 205 百万円が回収できなくなる可能性があることから、保守的に貸倒引当金として特別損失に計上することとしたため、平成 19 年 2 月期中間期の中間純利益並びに平成 19 年 2 月期通期の当期純利益を修正いたしました。

なお、担保不動産収益執行開始決定は不動産の管理運営を裁判所が任命する管理人に委ねる主旨の法的手続で、今回も当該ショッピングセンターの存続を目的とした措置との報告を当該管理人より受けております。

※本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上